

連続セミナー「生物多様性保全に役立つ合法木材調達」第2回 震災復興を支える国産材の現状と木材調達におけるハイリスク製品

様々な要因から国産材の調達を真剣に考え始めている企業が多くなっています。そこで、木材調達におけるリスクを把握する試みをする一方で、震災後の仮設住宅建設にあたり国産材や環境配慮素材を使用した企業の取り組みをご紹介します。さらに、国産材の真の供給ポテンシャルはどれくらいなのか、それを調達する際の課題とその解決に向けて調達側に求められることは何かを考えます。なお、冒頭のイントロダクションとして、トレーサビリティが長いためにリスクが高まる傾向にある海外からの木材を例に、木材調達に潜む環境社会リスクをどのように見分けたいのかを提案します。

■ **日時** 2011年11月30日(水)14:00-17:00

■ **会場** 環境パートナーシッププラザ GEOC

■ **プログラム**

進行: 三柴淳一(敬称略)

14:00	開会
14:05-14:15	挨拶 滝 勝也/林野庁木材貿易対策室木材専門官
14:15-14:35	イントロダクション: 三柴淳一/国際環境 NGO FoE Japan 森林保全と生物多様性チーム
14:35-15:15	国産材の現状:供給の可能性と課題 相川高信/三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング環境・エネルギー部副主任研究員
15:15-15:25	質疑応答
15:25-15:35	休憩
15:35-16:15	仮設住宅建設における環境配慮型の木材利用 綱島淳/ミサワホーム生産・建設本部 建設推進部長
16:15-17:00	質疑応答 & ディスカッション
17:00	閉会

■ **主催** フェアウッド・パートナーズ/国際環境 NGO FoE Japan、地球・人間環境フォーラム

※本連続セミナーは、林野庁補助事業である平成23年度地域材供給倍増事業の枠組みにおいて、「合法木材」の普及拡大を目的に実施されるものです

■ スピーカー紹介(敬称略)

綱島淳(つなしま・じゅん)

ミサワホーム株式会社 生産・建設本部 建設推進部長。1960年 東京生まれ。1986年 横浜国立大学大学院工学研究科建築学専攻修了同年ミサワホーム入社。4年間の住宅現場管理業務をへて同社鉄骨住宅の設計部門配属。2000年 技術・環境部に異動 広く環境側面を視野に入れた工業化住宅(木質パネル工法)の構法開発に従事。2003年 松本工場駐在 工場生産ライン部門と協働で工業化技術開発に従事。2009年 建設推進部に異動 現在に至る。(2009年 関東資源循環センター開設、2010年『木材調達ガイドライン』策定。2011年 東日本大震災復興における応急仮設住宅建設本部長を務める)。

相川高信(あいかわ・たかのぶ)

2003年京都大学大学院農学研究科地域環境科学科修了(森林生態学専攻)後、株式会社UFJ総合研究所入社、2006年の社名変更により現在、環境・エネルギー部副主任研究員。専門は森林・林業政策を中心に、地域振興及び再生可能エネルギーなどの分野において、調査・研究とコンサルティングに従事。2010年より、林野庁「森林・林業再生プラン 人材育成検討会」委員、農林水産省「バイオマス活用推進専門家会議」委員を務める。論文執筆多数、著書に「先進国型林業の法則 日本林業成長へのマネジメント」(全林協 2010年)がある。

■ 連続セミナー「生物多様性保全に役立つ合法木材調達」 今後のスケジュール

日程	テーマ	場所
第3回 (2012年1月25日:予定)	木材利用におけるリスクとフェアウッド導入のメリット ①フェアウッドの仕組みと各種活動 ②フェアウッド調達の導入のメリットおよび導入しないことによるリスク ③国内企業等のフェアウッド調達の実践例	環境パートナーシッププラザ GEOC(予定)

■ お問い合わせ

E-Mail: info@fairwood.jp

国際環境 NGO FoE Japan / 佐々木、三柴

地球・人間環境フォーラム / 坂本、根津

Tel: 03-6907-7217 / Fax: 03-6907-7219

Tel: 03-3813-9735 / Fax: 03-3813-9737